

賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等（個人：法人以外）

年間の農作業従事日数を記入

記入例

整理番号		氏名又は名称	晴国 受け手				農作業従事日数	200日												
賃借権の設定等を受ける土地の面積 (A) m ²		賃借権の設定等を受ける者が耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積 (B) m ²		賃借権の設定等を受ける者の主たる経営作目 (C)	賃借権の設定等を受ける者の世帯員の農作業従事及び雇用労働力の状況 (D)			賃借権の設定等を受ける者の主な家畜の飼育状況 (E)		賃借権の設定等を受ける者の主な農機具の所有の状況 (F)										
					世帯員	農業専従者		雇用労働力 (年間延べ労働日数)	種類	数量	種類	数量								
記載注意(2)参照 今回、借り受ける面積を記入		農地		5,000	農地	35,000	記載注意(3)参照 現在の作目を記入	2人	主たる従事者	(2 人)	0人日	トトラクター	1							
採草放牧地				2人										その他の従事者	主として農業に従事する者	(人)	従として農業に従事する者	(人)	田植機	1
その他																				
農作業に従事する者の配置の状況 (G)		市町村	氏名	住所、拠点となる場所等	賃借権の設定等を受ける者が権利設定等を受けた後に行う耕作又は養畜の事業が、賃借権の設定等を受ける農用地等の周辺の農用地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響 (H)		特になし		記載注意(5)参照		記載注意(6)参照 地域農業の組織、農道、用排水路等の管理や鳥獣被害対策等について記入									

- (記載注意)
- (1) 賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等（以下「本書類」という。）は、同一公告に係る農用地利用集積等促進計画書（以下「計画書」という。）に添付する。いずれかにその添付があれば、他はその添付を要しない。
 - (2) (A)欄は、同一公告に係る促進計画書中に複数の賃借権の設定等がある場合には、それぞれを合算して面積を記載する。なお、「その他」には、混牧林地、農業用施設の用に供される土地、開発して農用地又は農業用施設の用に供される土地とすることが適当な土地の別にその面積を記載する。また、(A)欄及び(B)欄に係る土地が複数市町村にまたがる場合には、市町村別の合計面積を括弧書きで記載する。
 - (3) (C)欄は、主たる経営作目を「水稻」、「果樹」、「野菜」、「養豚」、「養鶏」、「酪農」、「肉用牛」、「施設園芸」等と記載する。
 - (4) (D)欄の「主たる従事者」とは、自家農業労働日数が年間おおむね150日以上（自家農業労働日数が年間おおむね150日に達する者がいない場合は、その行う耕作又は畜養の事業に必要な行うべき農作業がある限りこれに従事する者）を、「その他の従事者」とは、主たる従事者以外でその農作業に従事する者をいう。
 - (5) (G)欄の「農作業に従事する者の配置の状況」については、(A)欄及び(B)欄に係る土地が複数市町村にまたがる場合のみ記載（市町村別の状況を記載）する。（隣接市町村などで配置が同じ場合は、該当する市町村名を列記する。）なお、「住所、拠点となる場所等」には、市町村名を記載する。
 - (6) (I)欄は、耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められない者である場合に記入する。
 - (7) 権利設定を受ける者の農地法その他の農業に関する法令の遵守の状況は、別紙に記載し（促進計画への記載含む。）、添付する。